

平成27年度 部局長マネジメント方針

たかはし かつしげ
副市長 高橋 克茂



私の決意

平成27年度は、野田市政2期8年の総仕上げの年です。私の担当する建設・上下水道の分野では、この8年間によって、小中学校の耐震化事業、近鉄奈良線の高架化、住工共生のまちづくり、国家予算を活用した道路・橋梁・上下水道等の長寿命化、景観計画、雨水対策、上下水道局庁舎の建設、おおさか東線新駅設置、花園ラグビー場の市有化、新障害児者支援拠点施設の建設などについて、これを達成しあるいは道筋をつけることができました。

また、平成27年度は、野田市政2期8年間における、これらの成果を礎（いしずえ）として、東大阪市が将来に向かって飛躍する年でもあります。

私が、この平成27年度に取り組む重要課題といたしましては、まず、花園ラグビー場整備及び関連公共事業の推進であります。ワールドカップ2019に向けての花園ラグビー場の整備はもちろんのこと、アクセス道路や東花園駅前広場の整備に積極的に取り組んでまいります。また、花園中央公園内に整備する緑化センターにつきましても、市民の緑化活動の拠点となる、本市の品格、品位を高める重要な施設であると考えており、「花園」の魅力向上に全力をあげてまいります。

さらに、立地適正化計画の策定に向けては、本市に相応しい土地利用のあり方を検討する必要があると考えています。この計画の策定を通じて、東大阪市としての、全国を俯瞰した都市戦略を構築し、住みたいまち、住み続けたいまちづくりの実現につなげてまいりたいと考えております。

その他、小中学校校舎耐震化や上下水道局庁舎の整備、上下水道施設の長寿命化、雨水対策、道路・橋梁等の長寿命化と補修など、私に課せられた課題と使命は大変重いものであると自覚しております。その自覚の上に立って、全力で職責を全うしていきたいと考えております。